



北海道のドライブの情景

水本 香里



ラジオを通して現場の臨場感を伝えたい

AIR-G'での局アナ時代、私は全道の道の駅を紹介する番組を担当していました。当時はまだそんなに数はありませんでしたが、とにかく道の駅を全て紹介するという企画でした。私は自分で取材をして原稿を作り、そして生放送で紹介しました。

番組スタッフは、喋り手とディレクター、アシスタントが一人しかいませんので、喋り手は自分で取材をして原稿を作る事が多いのです。

私は出来るだけリスナーが風景を想像しやすいように原稿を作りました。距離感はもちろん、目に飛び込んでくる色、風、匂い。そんな事をラジオで伝えたいと思ったのは、自分自身がドライブ好きで、その楽しさをラジオから感じて欲しかったからです。

父から受け継がれたのは、ドライブをする喜び

物心付いた時から父とドライブマップを見ていました。父はカメラが好きで、お休みになるとカメラを携えてドライブに連れて行ってくれました。しかも出発前、まずは地図を広げ、道を覚えてからドライブを実行するというマメな性格でした。私はそんな父の膝にちょこんと座り、一緒に地図を見るのが好きでした。その経験からか、現在では日本各地や海外の街でも地図さえあれば簡単に独り

歩きができます。

まだ赤ちゃんだった頃まで遡れば、父はバイクしか持っていました。母との二人乗りの間に私をサンドして、釧路から阿寒町中徹別の祖父母の家に行っていました。車を買ってからも毎週末はほとんどのように阿寒まで行っていました。

通称「まりも国道」と呼ばれる国道240号は、いつの間にか私にとって通い慣れた道になりました。雪解けの季節は、ところどころに畑が見え始め、エゾシカの大群に出会うこともある。夏には緑が生い茂り、釧路湿原も短い期間ながら緑が豊かに広がります。秋は青い空がどこまでも続き、山が赤く染まり、冬は川沿いに「けあらし」が発生して、丹頂鶴が川の中で片足立ちで身体を休めています。四季折々の景色が私の記憶の中に収められています。

悩みの種の車酔いも、両親の機転で乗り越えて

学校が夏休みになると、1泊2日で道東を中心によくドライブをしました。釧路から弟子屈、硫黄山や摩周湖を見て和琴温泉に泊まったり、屈斜路湖でキャンプをしたり。弟子屈では必ずと言っていいほど更科菓子店に立ち寄ってお菓子を買い、硫黄山では蒸氣で蒸した玉子とソフトクリーム、摩周の第3展望台では「いももち」を

食べる。和琴温泉では露天風呂に浸かり、屈斜路湖では幻の恐竜「クッキー」のおせんべいを買ってお土産にしたり。何度ドライブしたのか数え切れぬほどで、それぞれにたくさんの思い出があります。

実は自分で車の免許を取るまでは、車酔いに悩まされていました。子供の頃から、ドライブに出発した時点ではとても元気なのに、30分もすると車酔いでぐったり。そんな私の為に、車のトランクにはビーチボールやバトミントンのラケット、フリスビーなどが詰め込んでありました。道中でちょっとした空き地を見つけては車を降りて少し遊んで、調子が回復したら再出発。という具合でしたので、なかなか目的地までたどり着けなかったようです。

そんな車酔いに悩まされても、両親が小休憩をとつて一緒に遊んでくれたおかげで、ドライブに嫌な思い出はなく、むしろ大好きになりました。

私が免許を取ってからは自分で運転することが多くなり、車酔いはなくなりました。自分のペースで運転できる故に酔わないのか、大人になったから大丈夫になったのかは未だにわかりませんが、とにかく途中で車を止めて休憩する車酔い対策は必要なくなりました。

そして今。カーナビのおかげで、地図を携えドライブに行く事は減ったものの、父に似たのか地図を見る事は好きで、ランチタイムやホテルでは携帯で地図を確認。翌日のスケジュールや距離・時間を計算するのが習慣になっています。



広大な北海道を走り抜ける喜びを、これからも

大好きなドライブコースはいくつかあります。釧路からひとすら国道40号を行き、別保を通って厚岸まで。そこで通る厚岸大橋の美しさときたら——。

でも、子供の頃はまだ橋がない時代でしたので、車ごと船に乗って渡ったのを覚えてます。途中から北太平



洋シーサイドラインに入り、昆布森や仙鳳趾などを通り、あやめヶ原でお散歩して野生の馬を見たり。

また、阿寒湖温泉から阿寒横断道路を通り、弟子屈に抜けて摩周湖や屈斜路湖、川湯温泉などに立ち寄る。それから標茶経由で釧路に戻ってくるというコースも大好きです。

最近は釧路から弟子屈を通り、美幌峠から屈斜路湖を眺めて北見まで行き、北見インターから高速道路に乗って陸別まで向かい、足寄や本別の道の駅で休憩して道東道で釧路に戻ったり。

高速道路が伸びたおかげで、今まで泊まりで行かなくてはいけない場所も、日帰りでドライブ中心に楽しめます。あるいは、行きは国道からのんびり走り、帰りは高速道路を通ってノンストップで戻ったりと色々なパターンで楽しめるようになりました。

今は札幌で暮らしているので、子供の頃のように頻繁に道東へ行ける訳ではありませんが、年に数回は両親と道東ドライブを楽しんでいます。釧路から先も釧路外環状道路が釧路別保インターまで延長されたので、厚岸や根室に行く時にも便利になりました。

新しい道ができたら必ず通りたくなる両親を連れて、これからも道内各地を走ってみたいと思います。

子供の頃から変わらない風景は、私にとって宝物です。

水本 香里
フリーアナウンサー

■ profile

1990年FM北海道(AIR-G')入社。局アナとしてレギュラー番組を担当するほか、イベントのMCやCMナレーション、ニュースなどを担当。2016年からフリーアナウンサーとして活動開始。企業や団体の全国大会やフォーラム、シンポジウムや式典の司会等を務める一方、食べることが好きでグルメ本の取材なども手掛けている。時間があると一人でぶらり旅に出かけ、美味しい地元の食べ物やお酒を取材しては、番組などで紹介している。

